

21世紀の良きサマリア人

～心の時代の福音～

2023/1/8

「心の病」○×クイズ

•心の病は、心の弱い人や信仰の弱い人がかかる

- × かかり易い(にくい)人はいますが、誰でもかかる可能性が有ります。牧師でもかかります

•心の病は、悪霊の仕業である

- × 非常に特別なケースを除けば、脳の中で起こっている異常だと考えられます

•心の病は誤解されやすい

- ○ 「なまけ」や「思い込み」だと思われることがありますが、本人にとっては辛く、苦しい

ルカによる福音書10章25～37節

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

ルカによる福音書10章25～37節

しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。イエスはお答えになった。

「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通過して行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通過して行った。

ルカによる福音書10章25～37節

ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』

さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

心病む人たちの「道の向こう側」を通り過ぎていないだろうか？

•レビ人や祭司の言い訳

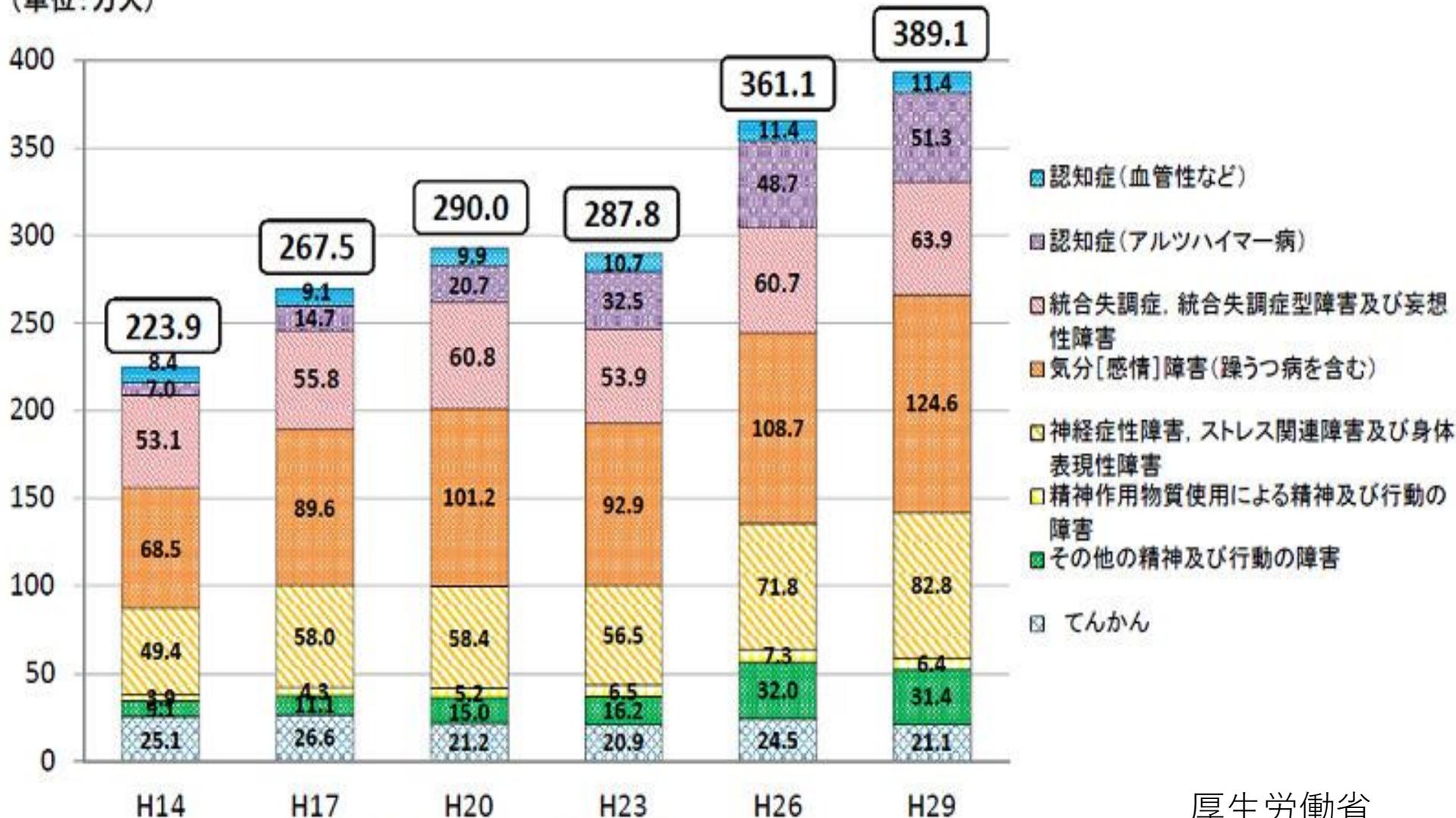
- 「汚れ」を身に帯びたくない・狂言強盗かもしれない・自分一人では助けられない
- 〈本音〉面倒なことに巻き込まれたくない・早く家に帰りたい

•私たちの言い訳

- 専門的知識がないから助けられない・自分以外の方が上手く助けられる
- 〈本音〉何かされそうで怖い・自然に治る・家族の問題だ

精神疾患を有する外来患者数の推移

(単位:万人)



※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

「良きサマリア人」になるには

• 憐れみの心を持つ

- 「そばに来ると、その人を見て**憐れに思い**」
- 心病む人が急増している
- 本人だけではなく家族も苦しんでいる

• 壁を乗り越える

- サマリア人とユダヤ人は憎み合っていた
- **自分も心を病む可能性がある**

• 積極的に犠牲を払う

- サマリア人は犠牲を払い最後まで面倒を見た
- 心の病は長期間、時には一生続く

「良きサマリア人」にな

スプラグクニゾマイ(ギ)
放蕩息子の父の気持ち

• 憐れみの心を持つ

- 「そばに來ると、その人を見て**憐れに思い**」
- 心病む人が急増している
- 本人だけではなく家族も苦しんでいる

• 壁を乗り越える

- サマリア人とユダヤ人は憎み合っていた
- **自分も心を病む可能性がある**

• 積極的に犠牲を払う

- サマリア人は犠牲を払い最後まで面倒を見た
- 心の病は長期間、時には一生続く

なぜ「良きサマリア人」になれたのか

• 助ける準備している

- 「傷に**オリーブ油**と**ぶどう酒**を注いで、**ほうたい**をし」> 旅にでるための必需品

• 助ける道具(材料)がある

- 「自分の**家畜**に乗せて宿屋に連れて行き」> 自力では担いで行けなかったかも？

• 助ける資源がある

- 「彼は**デナリ二つ**を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。**もっと費用**がかかったら、私が帰りに**払います**。』> 一文無しだったらこんなことはできない！

私たちが「良きサマリア人」になるには

• 助ける準備している

- 心の病について理解し、適切な支援についての知識がある

• 助ける道具（材料）がある

- 専門家（医師・カウンセラー）とつながりがあり、一緒に関わる仲間がいる

• 助ける資源がある

- 精神的に〈ある程度〉健康である
- 時間的・経済的に〈ある程度〉余裕がある

私たちが「良きサマリア人」になるには

• 助ける準備している

- 心の病について理解し、適切な支援についての知識がある

• 助

- 準備も道具も資源もないのに、使命感や“いきがり上”で関わっても、何もできない

• 助ける資源がある

- 精神的に〈ある程度〉健康である
- 時間的・経済的に〈ある程度〉余裕がある

では何もしないのか？

- 「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして」愛するように命じられている
 - 「力」と「思い(知性)」も大事
- 「自分のように愛しなさい」
 - もし自分が同じような境遇になったら…
 - 体と同じように誰もが心の病にかかる
- 「行って、あなたも同じようにしなさい。」
 - 心病む人たちの良きサマリア人になるための**準備をはじめよう！**

何から始めるか？

- **心の病や生き辛さの原因などについて学ぶ**
 - 「心の時代のキリスト教」を読む
 - 毎週の説教を聴く
 - 質問したり調べたりして知識を深める
- **心病む人たちやその家族に寄り添う**
 - 助けてやるのではなく、「そばに来て」共にいる
 - 自分にできることはないか尋ねる
 - いずれ詳しくお話しします
- **自分自身の精神的健康を保つ**
 - いずれお話しします

イエス様の語りかけ

さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」

律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

イエス様の語りかけ

サマリア人は
偶然出会った
敵を助けた！

自分の周り
には対象者
はいない

「家」は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

備えることこそ愛すること